

財務会計システムの主な機能一覧

一般会計システム	伝票入力	入金伝票、出金伝票、振替伝票など、取引を伝票として入力する機能です（仕訳入力・登録の作業）。
	帳簿作成	現金出納帳、総勘定元帳など、伝票の取引状況から転記して作成する帳簿を作成する機能です。通常の財務会計システムでは、伝票入力（仕訳入力）によって、自動的に帳簿に勘定科目と金額が反映されるようになっています。
	自動仕訳	これまでの仕訳データを予測して自動仕訳を提案する機能です。
	データ連携	データ連携機能は、銀行の入出金データ、クレジットカードデータなど、外部のデータを会計システム上にデータとして取り込む機能です。金額やすべての取引がデータとして取り込めるため、入力ミスを軽減できます。自動仕訳と同じで、一部の財務会計システムに備わっている機能です。
	決算書作成	入力したデータをもとに、貸借対照表や損益計算書などの、財務会計に必要な決算書を作成する機能です。
	帳票等の出力	作成した帳票や決算書を出力する機能です。印刷のほか、システムによっては、PDFでの出力、csvなどでの出力が可能です。
	固定資産管理	取得した資産ごとに管理する必要があります。資産によって償却期間が異なりますし、償却方法（定額法や定率法など）も異なるためです。多くの財務会計システムには、固定資産を適切に管理するための機能が備わっています。
管理会計システム	予実管理	予算と実際を管理することです。部門ごと、あるいは事業ごとに振り分けて予算を、実際費と比較してどうだったか分析のために活用します。
	経営分析	貸借対照表や損益計算書などからわかる数値などをもとに、経営や財政状態を分析する機能です。システムによっては、部門別に分析が可能であったり、グラフなどで視覚的にわかりやすくまとまっていたりするものもあります。
	経費管理	従業員の経費を管理するためのシステムのことです。
	シミュレーション	企業の会計情報をもとに、将来を予測する機能のこと。管理会計システムによっては、将来の経営状況をシミュレーションできるものもあります。
債権管理システム	売掛金等の管理・消込機能	請求書を発行して印刷する機能や入金済みの債権を消込する機能です。
	受取手形のてん末管理機能	受取手形に関する情報も入力でき、個々の手形の取立てや銀行割引、裏書譲渡などの「てん末」をたどることができます。不渡による未回収を防ぐために役立ちます。
	入金分析	債権残高や入金情報から、入金を分析できる機能のこと。債権回収の支援、書類作成機能。
債務管理システム	買掛金・未払金等の管理機能	買掛金・未払金等の管理。支払済みの債務を消込する機能です。
	支払分析	債務残高や支払情報から、支払を分析できる機能のこと。どの部門で支払が多いか、支払に対して債務が過剰でないかなど、状況分析に役立ちます。長期債務の管理、返済シミュレーション。